

野村萬齋 狂言の会



狂言 附
子 野村萬齋

狂言 梟山伏
高野和憲



令和8年12月8日(火)

開場:13時/開演:13時30分

下田市民文化会館 大ホール

■主催 (公財)下田市振興公社

■お問い合わせ 下田市民文化会館 電話:0558-23-5151

■プレイガイド

下田市民文化会館 0558-23-5151 / 村上書店(本店) 0558-22-0120

ハイキャット(稲取) 0557-95-0859 / 尾崎書店(下賀茂) 0558-62-0136

ムラカミ書店アネックス店 0558-25-0500 / ル・グッテ(松崎) 090-5615-7784

☆チケット☆

全席指定

4,000円

10月6日(火)~チケット販売開始



野村萬齋

「狂言の会」

番組

解説

中村 修一

梶山伏

山伏

高野 和憲

兄

内藤 連

弟

飯田 豪

後見

深田 博治

— 休憩十五分 —

附子

太郎冠者

野村 萬齋

主

深田 博治

次郎冠者

野村 裕基

後見

中村 修一

あらすじ

梶山伏

山から戻って以来、様子がおかしい弟を心配した兄は、山伏に祈禱を頼みにいく。山伏が弟の様子を見て祈り始めると、弟はうつろな目つきで鳴き声をあげる。聞けば弟は山で梶の巣にイタズラをしたことが分かる。梶が取り憑いたものであろうと、山伏は懸命に祈るのだが、症状はますますひどくなるばかり。そしてついには…。

梶の鳴き声が印象的な楽しい演目です。観ている皆さんの頭にも、梶の鳴き声がこびりついて離れなくなってしまうかもしれませんね。

附子

主人が太郎冠者と次郎冠者に留守番を言いつけ、桶の中に附子という猛毒が入っているので決して近づかないように、と言いつ残し出かける。附子が気になって仕方がない二人は、こわごわ様子を探ると、中身の正体は実は砂糖！二人は夢中になって全部食べてしまう。言い訳の方法を考えた二人は…。

とんち話でも有名な、狂言の代表的なお話です。茶目つ氣たっぷりの太郎冠者と次郎冠者の活躍をお楽しみください。

プロフィール



野村 萬齋

1966年生。祖父・故六世野村万蔵及び父・野村万作に師事。重要無形文化財総合指定保持者。東京藝術大学音楽学部卒業。「狂言こころ乃座」主宰。国内外で多数の狂言・能公演に参加、普及に貢献する一方、現代劇や映画・テレビドラマの主演、舞台「敦」山月記・名人伝」「子午線の祀り」「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」「日出処の天子」など古典の技法を駆使した作品の演出で幅広く活躍。現在の日本の文化芸術を牽引するトップランナーのひとり。現代に生きる狂言師として、あらゆる活動を通し狂言の在り方を問うている。94年に文化庁芸術家在外研修制度により渡英。芸術祭新人賞・優秀賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞、朝日舞台芸術賞、紀伊國屋演劇賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀作品賞、観世寿夫記念法政大学能楽賞、松尾芸能賞大賞、坪内逍遙大賞を受賞した。石川県立音楽堂芸術監督。東京藝術大学・日本大学芸術学部客員教授。（公社）全国公立文化施設協会会長。



野村 裕基

1999年生。野村萬齋の長男。祖父・野村万作及び父に師事。慶応義塾大学法学部卒業。能楽協会会員。「狂言イデアの会」主宰。3歳の時に「靉猿」で初舞台後、子方として国内外で多数の舞台に出演、修業を続け、「三番叟」「奈須与市語」「釣狐」を抜く。世田谷パブリックシアター「ハムレット」、能狂言「鬼滅の刃」「刀剣乱舞」で重要な役を演じ、活動の場を広げている。朝日カルチャーセンターや全国各地の狂言ワークショップで講師を勤めるほか、東京大学・早稲田大学・成城大学の狂言サークルを指導し狂言の普及に力を注いでいる。